

会議議事録

1. 日時等

日時	令和8年1月16日(金) 14:00~15:00
場所	白石町役場 1階 会議室1
会議名	令和7年度 第3回白石町地域公共交通会議

2. 出席者

所属等	役職等	出欠
白石町	町長	○
白石町	副町長	×
白石町駐在員会	会長	○
白石町駐在員会	副会長	○
白石町駐在員会	副会長	○
白石町老人クラブ連合会	副会長	○
白石町民政児童委員協議会	民生委員児童委員	改選中に より不在
佐賀県立白石高等学校	副校長	○
佐賀県立佐賀農業高等学校	教頭	○
白石警察署	交通課長	○
一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車 の運転者	(有)錦タクシー取締役	○
一般乗合旅客自動車運送事業者	祐徳自動車(株) 乗合バス部長	○
九州運輸局佐賀運輸支局	主席運輸企画専門官	○
佐賀県交通政策課	地域交通システム室係長	○
佐賀県杵藤土木事務所	管理課管理第二担当係長	○
(一社)佐賀県 バス・タクシー協会	専務理事	○
(福)白石町社会福祉協議会	事務局長	○
白石町	建設課長	○

3. 開会

○開会にあたり会長よりご挨拶をいただいた。

会長	<p>本日、年初の大変お忙しい中に、第3回白石町地域公共交通会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、委員の皆様方には、日頃から町政全般に渡りましてご協力いただき、深く感謝を申し上げます。</p> <p>地域公共交通会議では委員の皆様方のお力添えをいただきながら、白石町地域公共交通計画の策定および実施について協議をしているところでございます。将来にわたって町民の皆様の交通手段として、町内交通の利便性向上や維持存続のために、皆様方の忌憚のない意見をお聞かせいただければ幸いでございます。</p> <p>皆様、最後までご審議のほどよろしくお願ひ致します。</p>
----	--

4. 議題

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑を行った。

(1) 議案第1号：白石町地域公共交通計画（素案）について

委員	「施策①：いこカー・予約制いこカーの見直し」について、実証運行の実施時期が令和8年度から令和9年度に変更となった理由を教えていただきたい。
事務局	交通事業者との調整やAIオンデマンド交通導入検討期間を考慮し、実施時期は令和9年度に変更とした。
委員	佐賀県においてもAIオンデマンド交通導入に関する補助制度を設けている。仮に制度を活用される場合は、令和8年度の実証運行も対象となるため、ご検討いただきたい。
委員 (代理)	予約制いこカーの新規停留所について商工会議所から要望が挙がっている。予約制いこカーについては早めに検討を進めた方が良いと考えるが、実証運行は令和8年度に実施することはできないのか。
事務局	予約制いこカーのエリア区分を含め、交通事業者との調整が円滑に進めば実施時期を早めることは考えられる。
委員	「施策⑥：多様な主体が移動サービスを支える仕組みの構築」について、国が推し進めている輸送資源の総動員という観点から非常に重要だと考えている。現時点、具体的に想定している内容があれば教えていただきたい。
事務局	計画策定にあたり、町内の医療施設や福祉施設など送迎サービスを行っている事業者を対象にアンケート調査を実施した。その結果、運転手の確保や自動車の維持管理費など負担に感じている事業者が多くみられた。そのため、「施策⑥：多様な主体が移動サービスを支える仕組みの構築」を施策として掲げた経緯がある。想定している内容としては、各種施設が町から「予約制いこカー」の回数券を購入し利用者に配布することで、施設側は車両・人件費負担を軽減させ、町側は予約制いこカーの利用者を増やすことができないか検討している。
委員	国土交通省から「交通と医療・福祉・教育等他分野連携による地域輸送資源のフル活用について」といった資料が公表された。その中でも輸送支援のフル活用や需要の集約に関する制度が検討されている。まだ詳細は公表されていないが、来年度

	以降何らかの動きが想定されるため活用検討していただきたい。
委員	「評価指標①-2：観光客の公共交通での来訪者割合」について、データの出典となる佐賀県観光客動態調査は令和4年度で調査が終了している。そのため、佐賀県の地域公共交通計画においてもデータ出典の見直しを予定している。佐賀県観光客動態調査に代わる調査として佐賀県観光デジタル人流分析調査が行われているが、数値が大きく異なる部分があるため苦慮している。
事務局	指標については見直しを行う。

5. その他

委員	<p>令和8年1月22日に佐賀運輸支局や関係団体主催の「佐賀県バス・タクシー・トラック・自動車整備合同企業説明会」が開催される。担い手確保に向けた定期的に開催しているため、より多くの方への情報提供をお願いしたい。</p> <p>また、国土交通省から「令和7年度補正予算を活用した「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開」といった資料が公表されている。地域交通の持続可能性を高める取り組みに対して、来年度以降も引き続き補助を行うことになっている。詳細は未定であるが、特に自治体や交通事業者においては、ぜひ活用をご検討いただきたい。</p>
委員	<p>運転手の確保に向けて、複数のバス事業者が参加する説明会の開催を予定している。そこでは各社ブースを設けて、給料や福利厚生など就職に向けた面談会も開催される。より多くの方への情報提供をお願いしたい。</p> <p>また他市町村では運転手の確保に向けて、交通事業者と自治体が連携した取り組みを行われている。例えば、運転手になるために関東関西から移住してきた場合、町が一時金の配布など移住支援を行う。人口が増えればまちの活性化に繋がり、このような取組みがまちのPRにも繋がるためご検討いただきたい。</p>

6. 閉会

以上